授業科目名	図画工作Ⅰ	大学名	作新学院大学女子短期大学部
科目区分	ＶＵ連携講座	開講時期	前期（4 月 1 日～7 月 29 日）
学部・学科等	女子短期大学部・幼児教育科	曜日	月曜日
必修・選択区分	必修	時限（時間）	3 時限目　13：00～14：30
標準対象年次	全学年	授業形態	演習
単位数	２単位	授業会場	3109 教室（図画工作室）
担当教員名	花田千絵		
電話番号（代表者名）	028－667－7111（作新学院大学女子短期大学部　代表）	e-mail アドレス	hanada@sakushin-u.ac.jp
オフィスアワー	特に設けず，e-mail や電話で予約を取ってから，質問や相談に応じる。		
授業の概要	**＜授業の目標及びねらい＞** 幼児期の造形活動は非常に活発であり、子どもの取り組みも意欲的である。したがってその指導にあたっては、幼児に表現の喜びをもたせながら、豊かでよりよい感性を育てることを目標に、心身の成長発達に即しながら援助していく方法を学ぶ。 **＜前提とする知識・経験＞** 準備学習として、幼児の造形表現材料であるクレヨン・パス・絵の具・粘土等の材料を体験しておく。 **＜授業の具体的な進め方＞** この授業では、造形教育の多面性や、発達段階に応じた指導の方法を理解し、造形活動における材料と用具の知識も習得する。 **＜授業計画＞** 第1週：ガイダンス―授業の概要と進め方― 第2週：幼児期と造形表現 第3週：造形表現の指導のねらい 第4週：幼児の成長発達と造形表現 第5週：造形表現能力の発達段階 第6週：幼児作品の解説（年少作品） 第7週：　〃　（年中作品） 第8週：　〃　（年長作品） 第9週：描画の材料と用具について(絵の具類) 第10週：　〃　（クレヨン・パス類） 第11週：　〃　（鉛筆・インキ類） 第12週：版画の材料と用具について 第13週：製作の材料と用具について(紙類) 第14週：　〃　（木片類） 第 15 週：粘土の材料と用具について 定期試験 **＜教科書・参考書・教材と入手方法＞** 教科書：保育内容造形表現の指導(第 2 版) 健帛社 参考書：造形指導の手引き 改訂版 沢柳清・武田浩之・小野和 すずき出版 造形の方法 造形教育研究会編 すずき出版 **＜成績評価法＞** 演習課題(50%) と学期末試験(50%)の結果を総合して評価する。2/3（10 回）以上出席しないと評価の対象としない。(単位を取得できない。) **＜教員からのメッセージ＞** 幼児の発達段階（造形）に関心を持つ学生諸君の受講を歓迎します。		